

まごとの知・まごとの愛を探究 考え、判断し、決断できる女性を

—— 学長ご就任、おめでとうございます。

門野 ありがとうございます。卒業生としてシスターではないはじめての学長なのです。私で11代目です。

—— 創立60周年と伺いましたが。
門野 戦前から女子の高等教育の場としてあったのですが、戦後の新制大学として60年ということですね。

—— 建学の理念と精神を。

門野 キリスト教ヒューマニズム教育が基礎で「まごとの知・まごとの愛」をモットーにしています。少数教育により、学問を通じて人間的に触れあい、人ほどのように生きていくかを追求します。自分で考え、判断し決断できる女性を育てます。

自分がその世界で持ち味を生かし、いかに人間として素晴らしい人生を送れるかを学んでもらっています。（校内にメロディーが流れる）

—— 美しいメロディーですね。

門野 60周年の記念メロディーです。校歌をチャイムにして流しております。とても好評です。今年3月に校内で観桜会、4月には満開の霧島ツツジの中でガーデンパーティーを開きました。どちらもとても好評でした。

—— 学科はどのくらいあるのですか。

門野 日本語日本文学、英語英文学、スペイン語スペイン文学、文化史学科、地球市民学科、それに

大学院での修士、博士課程があります。

—— 卒業生の進路はやはり企業ですか。

門野 そうですね。多岐にわたります。ほかに海外留学、大学院に残る学生ですね。女性はある意味で次の世代へ引き継ぐ影響力が大きく、勢い、女性の占めるウェイトが広がっているように感じます。

—— 母親の役割は偉大ですからね。

門野 最近は若い男性に弱いかたが多いですね。

—— 草食系男子ですね。

門野 本学の卒業生は、おだやかでいて、芯が強い—と言われているようです。人に尽くすことを喜びとす

る女性を—とつねに心がけるようにしているんです。

—— ところで少子化で大学の環境は厳しいようですが。

門野 そうですね。ですが本学の場合は今年受験生が増えているんです。高校から推挙して頂く先生方も、清泉に行った生徒が一番伸びている—といわれているんです。ありがたいことです。受験生も18歳の学生だけではなく40〜50歳代、70歳代の方もいらっしやるんです。会社を定年退職したから—と入学された方もいらっしやいます。

—— それは生涯学習コースですか。

門野 いいえ、社会人特別入試による一般入学です。まだ日本には少な



かどの いずみ

1970年清泉女子大学文学部英文学科卒業(文学士)1978年聖心女子大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程入学、1981年同課程修了(文学修士)1982年上智大学大学院文学研究科英米文学専攻博士課程後期入学、1985年同後期単位取得満期退学。2002年清泉女子大学言語教育研究所長、同女子大学文学部英語英文学科主任、学校法人清泉女子大学評議員、清泉女子大学生涯学習センター長を経て清泉女子大学学長。

いようですが、英国ではかなり多いからですか。

—— 社会人入試の傾向はいつごろからですか。

門野 もう14年前から実施しております。本校を卒業したお嬢様に勧められてお母様がいらっしやるなど、動機はいろいろです。他の学生にとってもよい影響を与えています。

—— 60周年の記念行事は計画されているのでしょうか。

門野 とくに記念式典のような行事はないのですが、テーマは「平和の礎を未来へ」です。平和に関するシンポジウムや「土曜自由大学」とい

う公開講座があり、そこでの講演会などです。私も講演させていただきました。テーマは「シエクスピアの描いた平和」でハムレットが中心でした。

私自身シエクスピアから学ぶことがとても多いです。人間の持つ弱さ強さを秘めていますね。「あけない夜はない」などは名せりふの一つですが、現代でも通用するせりふです。いまは苦しくとも、必ず夜明けはくる—という教えにも通じています。シエクスピアを若いうちに読み、やがて年を重ねて再び読み返す。そうすることで深い意味を感じとって

頂けるでしょう。

—— シエクスピアと日本の歌舞伎には共通点があるといわれますね。

門野 そうですね。共通点は多くあります。衣装や女方でしょうか。どちらも血の通ったお芝居です。ですから私は坂田藤十郎丈の「藤娘」上演の際、ロンドンで一緒にしました。

—— 私もお会いしたことがありますが、人間国宝のいかめしい存在ではなく、気さくでいかにも人間臭いかたでした。

門野 そうですね。私も感激しました。歌舞伎とシエクスピアについてのお話をさせていただきました。

—— 環境も、精神的にも恵まれた大学ですね。

門野 ありがとうございます。心豊かな学生と献身的な教職員に恵まれています。今後は期待される人間育成に力を注ぐ所存です。倫理観、道徳感をしっかり身につけた人づくりですね。誰かに評価されたから—と右往左往するのではなく、判断力、決断力を持つ人間形成を目指しています。

—— 校門に一步足を踏み入れた途端、校風が分かりますね。心の豊かさを感じられます。

門野 ありがとうございます。今年の卒業式も感激でした。学長が一人ひとりに証書を手渡すのですが、みな感動していました。卒業したあとも訪れてくださる人が多く、お茶をいただきながら談笑することも多いので社会に出て、清泉はいい大学だった—と改めて思う卒業生が多いようです。そのような人のつながりや心の豊かさを大切にしたいですね。

—— ありがとうございます。今後のご活躍をお祈りします。